

# あらかわの高齢者



町屋7丁目工事中の特養ホーム

# 社会的孤立など高齢者の実態… 区が把握しているのはごくわずか!?

約4割。区独自の  
高齢者福祉も切り  
捨てられ、残って  
いるのはオムツ代

高齢者も含めた孤独死、孤  
独死が大きな社会問題になっ  
ています。区内高齢者のひと  
り暮らし及びのみ世帯は、約  
17,000世帯超。一方  
区の「高齢者みまもりステ  
ーション」(区内5カ所)各地  
域包括支援ステーション)に  
登録されている高齢者は、約  
4,500人、うちひとり暮  
らしは1,700人。全体の  
ごく一部です。また介護保  
険の要介護認定は約8,000  
人、内サービス未利用が3  
割。区独自の  
高齢者福祉も切り  
捨てられ、残っ  
ているのはオムツ代

**介護サービスや福祉とつながっていない  
全高齢者調査を実施すべきではない**

# 横山幸次

日本共産党荒川区議会議員

区政報告  
ニュース

480

2012年9月 9日  
発行 日本共産党区議団  
3802-4627  
fax3806-9246  
✉ arajcp@tcn-cat  
v.ne.jp  
町屋相談室  
荒川区町屋5-3-5  
3895-0504  
✉ yoko1951@aol.jp

横山幸次区議のホームページ・ブログをご覧ください。  
「横山幸次」で検索して下さい。

## 特養ホーム「おたけの郷」 説明会 10月14日(日)

特養ホーム「おたけの郷」が来年3月開  
設予定(上写真)。10月14日の入所希望者  
説明会の内容を聞いて希望者の方は、申請  
してください。区内の他施設に申込んでい  
る方も希望する場合は、「おたけの郷」に  
直接申請書を提出してください。区は、申  
込みを受付けていません。

説明会 日時10月14日(日)1回目 午前10  
時から12時 2回目 午後2時から4時 3回  
目 午後7時から9時

会場 荒木田ふれあい館 3800-1981

おたけの郷の住所～町屋七丁目18番11号

定員 140人(個室100人、多床室40人)

問い合わせ「おたけの郷準備室」3894-0310

	合計	町屋	南千住	荒川	尾久	日暮里
登録者数	4,513	723	885	801	1,295	809

2012年8月30日現在 地域包括支援センターに設置

## 荒川区議会第3回定例会が開かれます(9/11~10/9)

今回の議会は、昨年度の予算執行状況などを審査しま  
す。くらし応援とともに、大震災と原発事故を受け、防  
災対策と原発ゼロ・放射能対策などこれまでの区政の取  
り組みが問われます。

横山区議の代表質問は、9日の3時20分くらいから  
です。ぜひ傍聴にお出かけ下さい。

	2010年10月
65才以上単身高齢者数	10,870
夫婦とも65才以上世帯	6,812
高齢者世帯数計	17,682
高齢者世帯 人数	24,494
国勢調査(2010年10月)	
高齢者人口	43,317
住民基本台帳 2012年1月	

## 裏面 代表質問の要綱、原 発ゼロへのとりくみなど

# 定例法律相談会

10月1日(月)  
午後6時～8時  
横山区議事務所

弁護士と横山区議が相談をお受けし  
ます。秘密は厳守します。お急ぎの場  
合は、北千住法律事務所の相談日など  
ご紹介します。

生活相談は、随時受け付けています。

TEL&FAX 3895-0504

不在時は、留守電へ、後で連絡します。

区役所控室 3802-4627

大震災後空き地になって久  
しい元パチンコ店の跡地。地  
域では、何が建つのか以前か  
ら様々に言われてきました。  
今回、事業者からマンション  
建設を行うとして地域に説明  
があったそうです。その中で、  
1階部分に店舗スペースを  
もつけないとい  
う話があったそ  
うです。これが本  
当な  
ら尾竹橋通り  
の商店街が途  
中で分断され  
ることになり  
ます。  
あらためて町  
屋駅から尾竹  
橋まで見ると  
確かにマンシ  
ョンは建設さ  
れていますが、  
基本的に1階  
は店舗スペース  
です。いま  
でも商店街の  
空き店舗  
対策は大きな  
問題。



ここで商店街が分断されると...

何とか活性化したいところに、  
最初から空き店舗状態の空間が  
出来てしまいます。儲かれば  
地域のことや商店街はどうで  
も良いと考えているとすれば、  
大問題です。やはり何らかの  
規制が必要です。 横山幸次

尾竹橋通りの空き地に建設されるのは  
マンションらしいが1階に店舗無し...?

手前の話題あれこれ

# いのちを守る区政をになう資格とは… 原発ゼロへの姿勢が問われます



横山幸次区議が9月11日の本会議で行う代表質問の要綱をお知らせします。  
今回は、11月11日投票の区長選直前の議会です。区民の暮らしに応援とともに、原発ゼロにどのような態度をとるのかきびしくただしていきます。

## 1、消費税、社会保障、原発ゼロについて

震災復興に逆行し区民の暮らしに打撃を与える消費税増税、社会保障を「自己責任」に置き換え、国民皆保険すら突き崩す社会保障制度改革推進法についての認識を問う。



原発ゼロの立場に立たなければ、住民のいのち、暮らしを守る自治体の長として資格が問われると考える。認識を問う。

## 2、誰もが人間らしく生きることが出来る地域社会をつくるために

介護保険の利用料引き上げ、生活援助の時間短縮など高い保険料を払っても必要なサービスが受けられない。介護保険の改悪が続いているという認識があるか。



介護保険の中で必要なサービスが受けられない部分に区として上乘せや低所得者層への経済的支援の検討をすべきと考えるが認識を問う。

憲法25条の生存権、生活保護法の趣旨に基づく生活保護制度の運用を行い、とりわけ申請権を保証すること。



来年4月にむけ南千住、日暮里をはじめ待機児童ゼロの対策について問う。

いじめも含めた数値目標化や学校選択制、教員評価システムなど過度に競争的な手法を見直し、いじめ問題の隠蔽を生まない、学校、教師、地域が一体に解決に取り組める環境をつくること。

## 3、防災対策、まちづくりについて

地域防災計画の見直しにあたって原発事故で広範囲に放射能核種が飛散し海洋汚染も広がった実態も踏まえ「原子力災害編」を原発事故に対応した内容に修正を行なうこと。



また災害を予防する対策を最重点に、住民の命と健康及び財産を守るための減災目標と達成期間を明確化した、実効ある計画への修正が必要。

現在の市街地整備指導要綱について実効性の上がる内容を加えて条例化を急ぐとともに、現在進行中の開発行為について防災、安全、景観などへの配慮を強く求めること。

## 4、ものづくりへの支援について

新製品開発の補助金の全額前渡しと完成に至るまでの「つなぎ融資」を創設、創業支援融資についても事前手続き時間の短縮、支援体制強化など改善すること。また区の斡旋後、信用保証協会の保証が受けられない場合でも、一定の条件の下で区の損失補填で融資実施が出来る制度を創設すること。

当面、M A C Cコーディネーターの常勤化や増員など、ものづくり支援体制を抜本的に強化すること。

現状では踏み込んだ相談ができる専用相談室が事実上なく、産経部4階の研修室などの活用も視野に企業秘密など守られる相談環境を整備すること。



## 《再稼働は許さない・原発ゼロ…情報》

首都圏反原発連合は、9月30日に発足されようとしている原子力規制委員会と、次の衆議院選挙を視野に入れ、当面9月いっぱい毎週金曜の抗議を継続します。



9月を強化月間として、人事案の撤回を求め、脱原発についての政党、政治家の動向を見極め、さらに抗議の声を拡大していきましょう！（「反原連」のホームページから）

肥田舜太郎さん（医師・内部被曝、低線量被曝の健康影響について研究しその危険性訴え続ける）を迎えた吉田喜一さんとのつどいがあります。ぜひご参加下さい。

9月17日（月・休日）14時～ 峡田小学校体育館  
宮地交差点そばです

## 9・12防災無線のいっせい放送があります

9月12日に防災無線の試験放送があります。

総務省が地震やテロなどの場合に全国いっせい放送を行う「J A L E R T」が作動しないというので、全国的に自治体が受信できるかどうかの試験を行うようです。よく聞こえないところもあるかもしれませんが、あくまで試験放送ですからご心配はありません。

J-ALERTは、大規模災害や武力攻撃事態が発生した際に、国民保護に必要な情報を通信衛星を利用して、瞬時に地方公共団体に伝達し、各自治体の「防災行政無線」を自動起動させ、住民へ緊急情報を伝達するシステム。

